

令和3年度第4回江府町学校運営協議会（書面開催） 会議録

※なお、第4回は感染症拡大防止の為、書面開催とした

令和3年度 学校運営評価について

◆評価者数12名【全委員数（13名）から該当校の校長を除きます】

【江府小学校】自己評価の通り…12人

【江府中学校】自己評価の通り…12人

以上により、学校関係者評価は、「自己評価」と同じ評価とする。

※人数には、評価書が提出されない方を「自己評価の通り」とした数も入る。

<令和3年度学校運営評価についての意見>

【江府小・江府中共通】

- ◆小学校、中学校共に年度中の努力事項について、細かく評価されており、次年度に向けての目標につなげる事が出来る内容と思われる。先生方の努力に感謝をしたい。
- ◆コロナで状況が良くない中、とても良い計画、活動、結果を残されていると思います。子ども達が地域の人に対し、どのような心境なのか？聞いて良いのか難しいですが、この先心境の変化が見える化する事で、ヒントが得られるかもしれません。

【江府小学校に対して】

- ◆平素は子どもたちの「自ら課題を持ち、解決しようとする力」の育成に努力されていることに敬意を表します。その上で、以下に私の意見を述べさせていただきます。

i (意見)「ICT」活用の授業の公開

近年「GIGA スクール構想」が進み、「ICT」の活用という言葉をよく聞くようになりました。しかし、授業の中でどのような活用がされているのか十分には理解していません。学校運営協議会委員の研修として「ICT」活用の授業の公開が必要ではないかと思っています。

ii (意見)紙媒体の「読み取る能力」の育成

ICTの積極的な活用は時代の要請であると思います。しかし、想像力を働かせるまえにすぐにタブレットなどの画面で検索する。そのことによってメモをする能力、文字を書く能力、内容を理解する能力などの問題解決へのアルゴリズムを作成する能力が落ちるといった研究者の指摘もあります。言わずもがなのことですが、黒板、紙媒体の資料の活用。そして効果的に視覚にとらえるためにデジタル機器を使用する。つまり、デジタルはあくまでも補助、主人公は紙媒体であるように考えています。読んで、書いて、頭で考えるという従前の学習スタイルは脳にとって大切な学びだと思っています。

- ◆知・徳・体の各努力事項とも、課題に対して具体的な工夫と積極的な実践がされており、江府小学校最後の年にふさわしい成果を上げられていることに感謝申し上げます。奥大山江府学園に向けての準備も進み、校長先生をはじめ、先生方のご尽力により、スムーズな移行が迎えられそうです。ありがとうございます。

【江府中学校に対して】

- ◆ i (意見)オンスタ学習会について

今年度数回参加しましたが、真剣に自分の力を伸ばすために参加している生徒と一方では息抜きのように私語の多い生徒もいます。今後この学習会をより良いものに継承していくためには実施内容の工夫が必要と考

えます。例えば、①「自学」教室と②「質問」教室の2つの教室を設置する。②は事前に質問を準備してきた、あるいは「自学」教室での学習中に疑問が発生などの場合に「質問」教室に行く。そのためには、質問に答えられるスタッフの確保と、中学生にオンスタ学習会の日程を案内するときに「質問」教室の開講日を明記する。前者は難しいかもしれませんが、一考の余地があるのではないのでしょうか。

ii (意見)「授業公開週間」の設置について

学校行事に地域の人々が参加する機会がありますが、授業を見る機会はありません。各教科どのような授業が行われているのか、生徒の反応はどうか。特に近年、「ICT」の活用ということが盛んに言われています。私たちの頃と授業の形態がどのように様変わりしているのか、など知る機会がありません。生徒の学びの実態を知ることも大切だと思います。

◆「(2)生徒の学習意欲を高め、学力向上を図る」について

評価はB+で自己評価されていますが、新型コロナ禍において学力向上に向け、努力されておられることを付け加えます。

◆少ない生徒数の中でも、学習・生活のあらゆる面で一人ひとりが主体的に動けるような取組の工夫が見られました。小学校連携授業も進み、よい準備ができており、子ども達も期待が高まっているように思われます。